

目次

最新情報	1
新機能	1
V1.04の追加	1
メンテナンス項目	1
V1.10の修正	1
V1.08の修正	1
V1.07の修正	1
V1.06の修正	1
V1.05の修正	2
V1.04の修正	2
V1.03の修正	2
V1.02の修正	2
V1.01の修正	2
ファームウェアバージョンの確認	2
ファームウェアアップデート手順	2

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.04の追加

- メニュー画面の“UTILITY 1” ページに“SCREEN SAVER” 項目の設定を追加しました。長期間使用する事によりディスプレイに残像が残ることを防ぎます。

メモ

詳しくは、CG-2000/CG-1800/CG-1000の追補「ファームウェア V1.04の新機能」を参照ください。

メンテナンス項目

V1.10の修正

- ERROR INFORMATIONの履歴に、「Chasing」が発生した情報を残すようにしました。
- 入カクロックが正常な時に、Chasingエラーが稀に出る不具合を修正しました。

V1.08の修正

- ビデオ出力の終端検出表示機能が誤表示することがある不具合を修正しました。

V1.07の修正

- ジッターが多いリファレンス入力に対するアンロック判定を抑制しました。
エラー表示にのみ関連する修正で、動作自体に影響はありません。
- ジッターが多いリファレンス入力に対してビデオ出力の調走判定を抑制しました。
エラー表示にのみ関連する修正で、動作自体に影響はありません。

V1.06の修正

- 起動直後の外部リファレンス信号へのロックに時間を要する場合がありますでしたが、改善しました (CG-2000/CG-1800のみ)。

TASCAM CG-2000/CG-1800/CG-1000 Release Notes

V1.05の修正

- リファレンスクロックの移行中にリファレンスクロックの設定を変更した場合、ロックが完了しないことがありましたが改善しました。
- リダンダントシーケンス (RED. SEQ.) の設定が **“ONE WAY”** のときにプライマリー、セカンダリーの両方のリファレンスが喪失し、その後復帰した場合にHOLD OVER動作を持続しますが、PRESET RECALLによるプライマリー復帰操作時に1回の操作ではプライマリーに復帰しないことがありましたが改善しました。

V1.04の修正

- 起動直後のOCXOが不安定な期間にリロックが動作しないことがありましたが、改善しました。
- リダンダントシーケンス (RED. SEQ.) の設定が有効になるタイミングを、起動直後からOCXOが安定後に変更しました。
- OCXOが安定するまではプライマリー優先 (PREF.PRI) で動作します。これにより起動直後のOCXOが不安定な期間 (INTERNAL SIGNAL LEDが点滅している間) にリファレンスロックが外れ、ホールドオーバーになってしまうことがありましたが、改善しました。

V1.03の修正

- リファレンスクロックがWORDの設定で、ワードリファレンス信号の品質が悪いとき、ロック完了後もLOCKインジケータ (点灯) や INFOインジケータ (青色点灯) が表示されないことがありましたが、正しく表示されるよう改善しました。

V1.02の修正

- リファレンスクロックを入力しない状態で本機を起動した場合でも、ビデオクロック出力とオーディオクロック出力の同期が取れるよう改善しました (CG-2000 / CG-1800のみ)。
- **“VIDEO CLOCK”** 画面の **“AUTO RATE”** 項目が **“ON”** の場合、本機で非対応のフォーマット (720P/30fpsなど) を自動設定しないよう改善しました (CG-2000 / CG-1800のみ)。

V1.01の修正

- リファレンスクロックが **“INTERNAL”**、**“WORD”** もしくは **“AES”** の設定で電源を投入し、その後ビデオリファレンスとオーディオリファレンス (**“WORD”** もしくは **“AES”**) のリダンダントを設定した場合、オーディオリファレンスからビデオリファレンスへのリダンダント動作によるリファレンスクロック切り換え時に、ワードクロック出力信号が変動しないよう改善しました (CG-2000のみ)。
- リファレンスクロックが **“VIDEO”** の設定で、なおかつビデオリファレンス信号が入力されていない状態で電源を投入し、その後ビデオリファレンス信号を入力した場合に、ビデオリファレンス信号へのロック完了までの所要時間が短くなるよう改善しました (CG-2000のみ)。
- ビデオリファレンスとワードリファレンス (**“WORD”** もしくは **“AES”**) のリダンダントを設定した場合、ワードリファレンスからビデオリファレンスへのリダンダント動作によるリファレンスクロック切り換え時に、ビデオリファレンス信号へのロック完了までの所要時間が短くなるよう改善しました (CG-2000のみ)。
- **“ERROR INFORMATION”** 画面下部に表示される **“PUSH CANCEL TO CLEAR”** のスペルミス (**“CANCLE”** → **“CANCEL”**) を修正しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのCG-2000/CG-1800/CG-1000のファームウェアバージョンを確認します。

1. MENUボタンを押してメニュー画面の“UTILITY 2” ページを表示し、MULTI JOGダイヤルを回して“VERSION”項目を選択します。
2. MULTI JOGダイヤルを押して、“VERSION”画面を表示します。ここに表示されている“VERSION”および“BUILD”を確認します。

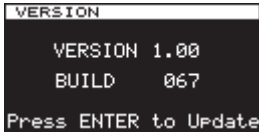


```
VERSION
VERSION 1.00
BUILD 067
Press ENTER to Update
```

ここで表示される“VERSION”および“BUILD”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

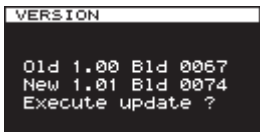
1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. ダウンロードしたファームウェアをUSBメモリーのルートディレクトリ（一番上の階層）にコピーしてください。
3. 手順2.で作成したUSBメモリーを、フロントパネルのUSB端子に挿入します。
4. MENUボタンを押してメニュー画面の“UTILITY 2” ページを表示し、MULTI JOGダイヤルを回して“VERSION”項目を選択します。
5. MULTI JOGダイヤルを押して、“VERSION”画面を表示します。



```
VERSION
VERSION 1.00
BUILD 067
Press ENTER to Update
```

6. もう一度MULTI JOGダイヤルを押します。

7. USBメモリーを認識し、ファームウェア用アップデートファイルを確認すると以下の画面が表示されます。



```
VERSION
Old 1.00 Bld 0067
New 1.01 Bld 0074
Execute update ?
```

メモ

画面は一例で、実際の表示とはこととなります。

8. MULTI JOGダイヤルを押します。“Executing ...”が表示され、アップデートが開始されます。
9. アップデートが完了すると“Update Complete”が表示されます。その後、自動的に再起動します。
10. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“VERSION”および“BUILD”が最新のファームウェアバージョンであることを確認してください。以上で本機のアップデート作業は終了です。